

令和元年度

学 生 表 彰 式



日 時 : 令和2年2月13日 (木)
表彰式会場 : 210教室
懇親会会場 : 3号館1階パルテール

公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学

令和元年度 学生表彰式

令和2年2月13日（木） 11時00分
於 2号館 210教室

1. 開式 (11時00分)

1. 学長挨拶 (11時00分)

1. 優秀賞授与 (11時10分)

【課外活動等】優秀賞 (学長より授与)

個人 工学部応用化学科 1年 田中 ひな子
団体 自動車部 (学生フォーミュラチーム)
ロボット・メカトロニクス部

1. 学生部長挨拶 (11時30分)

【課外活動等】功労賞 (学生部長より授与)

団体 学友会本部
クラブ活動運営委員会
第25回竜王祭実行委員会

【課外活動等】奨励賞 (学生部長より授与)

団体 教育研究サークル
住吉まつり龍舞ボランティア (学生宿舍入居学生他)
ボランティア部
薬学研究会
薬学部薬学科 有志
(第52回日本薬剤師会学術大会 学生スタッフ)

1. 受賞者挨拶 (11時50分)

個人 工学部応用化学科 1年 田中 ひな子

1. 理事長挨拶 (11時55分)

1. 記念撮影 (12時00分)

都合により、一部変更することがありますので、ご了承ください。
なお、式終了後、パルテールにて懇親会を行います。

※各賞毎に五十音順、敬称略

【課外活動等】

優秀賞

○田中 ひな子（工学部応用化学科 1年）

今年度4月に自ら水泳部を立ち上げ、積極的に大会に参加した結果、地区予選を勝ち抜き第66回全国国公立大学選手権水泳競技会へ出場を果たした。プールの設備がない状況の中、近隣のスイミングクラブで練習を重ね、見事全国大会に出場した業績は、本学の名誉を高め、他の学生の見本となる活動となった。

○自動車部（学生フォーミュラチーム）

学生フォーミュラチームに所属した部員は、第17回全日本学生フォーミュラ大会に向け、厳しい規則を守り自ら計画した行動プロセスに従い、既定の車両を完成し、全員で出場を成し遂げた。昨年度より順位を落とす結果となったが、非常に良く健闘した。また、地域の様々なイベントでは活動パネルと共に車両の展示を行い、地域の子供たちにもものづくりの楽しさを伝え、本学の広報活動にも大いに貢献した。

○ロボット・メカトロニクス部

自分たちで考案したロボットを製作し、第9回キャチロボバトルコンテストと第6回トマトロボット競技会に参加、他大学の参加チームと技術交流を行った。また、地域のイベントや竜王祭に参加し、メカトロの体験展示を通して子供たちへメカトロ（理系）への関心を高める活動を行い、本学の広報活動にも大いに貢献した。

功労賞

○学友会

設立3年目の学友会活動を活発化するため、独自のイベントである「竜王戦」「クリスマス会」を企画・開催し、学部学科や学年を超えた学生同士の交流を深めた。また、学生の意見を広く集める目安箱を活用し、放置傘を整理、貸出用の傘を設置した。さらに、市の行事等にも学生代表として参加した。これらの活動を通して、学生と大学のより良い環境づくりを目指しつつ、今後の学生活動活発化の一助を担った。

○クラブ活動運営委員会

春と秋のスポーツ大会の企画・準備・運営において主体的に取り組んだ。学内の建設工事によりグラウンドが使用できない中、昨年同様スポーツ大会を2回開催した。特に秋の大会においては、キャンパスクリーンキャンペーンを同時開催し、通常回よりも長い時間で清掃活動を実施、大学周辺の美化に貢献した。

○第25回竜王祭実行委員会

今年度の第25回竜王祭は「MAKE WITH US」をテーマに揚げ、企画・準備・運営に取り組んだ。このテーマには多くの人との関わりを大切に、協力して竜王祭を作り上げるという思いが込められている。ステージイベントでは、学内のクラブ活動の発表の場を優先した内容を設け、学生により身近な竜王祭となり、大きな混乱や事故もなく学園祭を無事に成功させた。また、地域行事にも積極的に参加し、地域事業に大いに貢献した。

奨励賞

○教育研究サークル

市内の小・中学校における教育ボランティア活動や、山口県教育委員会が主催する学校体験制度等を活用して、積極的に教育現場に赴き、活動および情報交換をした。山陽小野田市立図書館の「図書館フェスティバル」への参加や、休日実施の学校行事への協力参加を含め、これらの活動は本学の地域貢献の一つとして定着してきた。今年には県立教諭1名、私立教諭3名の教職内定者を輩出した。

○住吉まつり龍舞ボランティア（学生宿舎入居学生他）

住吉まつり龍舞ボランティアは、住吉まつり復活委員会からの要請に応え、学生宿舎の1年生を中心とした有志で結成された。今年で8年目となる「復活!住吉まつり」に向け、4月下旬から体育館で毎週練習を重ね、当日は小野田工業高校から住吉神社までの沿道をパレードし、メインステージでは大勢の観衆の前で勇ましい龍舞の演舞を披露した。大学代表として住吉まつりに参加し龍舞を披露したことは、地域との確かな絆を深め、地元にも愛される大学として地域社会に大いに貢献した。

○ボランティア部

これまで山口県警察（特に山陽小野田署生活安全課）と緊密に協力し、山陽小野田市内を中心とした地域の様々な催しにボランティアとして参加し、多くの実績を積み上げてきた。今年度は、より広範囲の活動を行うべく、「ボランティア部」へ改称し、これまで継続して行ってきた活動と並行して県内各所の催事への参加や県内外他大学との交流など、活動の幅を広げた。また、「第2回山口県ボランティア交流大会」に本学のボランティア団体として参加し、本学学生のボランティア活動広報の一助を担った。

○薬学研究会

小学生向けにおくすり教室を開催した際、学生スタッフの募集や事前準備、当日の運営及び小学生への学習サポートに中心的な役割を担い、運営に極めて重要な役割を果たした。また、これらの活動により、山陽小野田市内への定期開催も決まり地域社会に大いに貢献した。

○薬学部薬学科 有志（第52回日本薬剤師会学術大会 学生スタッフ）

下関市で開催された第52回日本薬剤師会学術大会において、学生スタッフとしてその運営に携わり、山口県薬剤師会（主催者）より彼らの活動について非常に高い評価を得た。さらに、特別企画のシンポジウム「薬剤師を考えよう」においては2名の学生がシンポジストとして発表を行った。これらの活動は、本学と山口県薬剤師会との連携強化に資するだけでなく、本学の名誉を大いに高めた。